

ゴールドマン環境賞を当団体の平田仁子が受賞

石炭火力に対する取り組みを評価。日本人3人目、女性初

この度、当団体の設立当初来のスタッフである平田仁子が、ゴールドマン環境賞を受賞いたしました。

同賞は、環境のノーベル賞とも呼ばれる賞で、今回、平田の活動の中でも、福島第一原発事故後に日本政府及び企業が精力的に石炭火力発電の建設を推し進めてきたことに対して、気候変動の観点からNGOとして取り組みを行ってきたこと、そしてそれにより建設計画の約3分の1に相当する事業が中止に至ったことの功績を讃えて与えられました（詳しくはゴールドマン環境賞の[ホームページ](#)（英語）、平田仁子の受賞紹介[ページ](#)、日本語[プレスリリース](#)をご参照ください）。

今回の受賞に際しまして、これまでの多くの皆様のご支援・ご協力に、平田仁子および気候ネットワークスタッフ一同、心より感謝申し上げます。気候ネットワークでは、脱炭素化の実現に向けた一層の活動を展開してまいりますので、引き続きのご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

* 平田仁子からのメッセージ

ここ数年、猛烈な勢いで石炭火力発電所の建設が押し進められてきたことに歯止めをかけようとして取り組んできました。石炭火力の建設計画の中止を求める活動は、気候ネットワークのスタッフ、地域団体や住民の皆さん、サポートして下さる国内外の法律家や専門家、NGOなどの力が合わさって大きくなってきました。このような大変名誉ある賞をいただくことになるとは思っていませんでしたが、本賞は、一緒に粘り強く取り組んできた皆に与えられた賞に他なりません。日本の市民一人ひとりが社会の変化に向けて行動することに光を当て、その意義を認めてくださったことは、これからの私たちの活動に大きな力になります。しかし、脱石炭、脱炭素化の実現には、もっと大きな動きを作っていかなければならず、むしろこれからが重要です。この賞が、多くの人のさらなる行動につながる契機になってほしいと願っています。

* ゴールドマン環境賞について—日本人の受賞者としては3人目、女性としては初

同賞は、環境保護に功績ある活動を行った人に与えられる賞であり、1989年にリチャード・ゴールドマン氏と妻のローダ・ゴールドマン氏によって設立されて以来、毎年6人が大陸ごとに選ばれてきました。32年の歴史における日本人の受賞者は、熱帯林保護や木材貿易問題に取り組んだ黒田洋一氏（1991年）、諫早湾干拓問題に取り組んだ山下弘文氏（1998年）です。日本人としては23年ぶりの3人目、女性としては初の受賞となりました。日本に馴染みのある他の受賞者には、ケニアの環境活動家でノーベル平和賞受賞者のワンガリ・マタイ氏（1991年）、ドイツの市民再エネ電力会社を立ち上げたウルスラ・スラーデック氏（2011年）などが挙げられます。

* 今後のご案内

オンライン授賞式（英語）

日時：2021年6月16日（水）8:00～9:00am（日本時間）：

Goldman Environmental PrizeのYouTubeチャンネルでライブ・録画が視聴できます。

<https://www.youtube.com/user/goldmanprize>

（例年は米サンフランシスコのオペラハウスで開催されるが、今年は新型コロナの影響によりオンライン開催となった。）

プレゼンター

ジェーン・フォンダ (*Jane Fonda*) 米俳優。映画「コール・ガール」「帰郷」などに出演
シガニー・ウィーバー (*Sigourney Weaver*) 米俳優。映画「エイリアン」シリーズや「アバター」などに出演

レニー・クラヴィッツ (*Lenny Kravitz*) 米ミュージシャン・俳優。ヒット曲に「Are you gonna go my way」や「Fly away」など

ヌドロブ・ユース・クワイヤー (*Ndlovu Youth Choir*) 南アフリカのチャイルドケアプログラムから生まれた聖歌隊、他

受賞記念シンポジウム（国内開催・日本語）

日時：2021年7月4日（日）13:00～15:00（日本時間）

場所：東京都内会議室撮影（無観客）＋オンライン形式

（プログラム予定）

第一部 ゴールドマン環境賞受賞にあたり

国内外の関係者からのお祝いのメッセージ

平田仁子による受賞のご挨拶

第二部 日本の排出ネットゼロと脱石炭に向けて

気候変動に関わる各界の方々とのパネルディスカッション

※詳しくは気候ネットワークの[イベントページ](#)をご覧ください。

主催：ゴールドマン環境財団・気候ネットワーク

参考： ゴールドマン環境賞HP: <https://www.goldmanprize.org/>

お問い合わせ：

気候ネットワーク

京都事務所 TEL:075-254-1011、Email: kyoto@kiconet.org

東京事務所 TEL:03-3263-9210、Email: tokyo@kiconet.org